



すがも
ベテランクラブ
コンサート
2016



いのちの響き
～自然を感じる音楽会～

2016年11月16日(水)
14:00開演
巢鴨信用金庫 本店3階ホール



すかもベテランクラブコンサート 2016

いのちの響き ～自然を感じる音楽会～

本日は巣鴨から飛び出して、皆様を生命みなぎる自然の世界へとご案内いたします。

いつの時代も人々は自然に魅せられ、数々の名曲を生み出しました。

動物、表情豊かな空、広大な大地、恵みの水、…若き音楽家たちが奏でる美しく生き生きとした音楽が、自然の世界を描き出しますので、きっと自然への畏敬と美しさを耳と心で感じていただけたと思います。さあ、冒険へと出かけましょう。

第1部

クラリネット・アンサンブル 「動物の世界」

自然の世界の入り口では、動物たちが歓迎してくれています。愉快的森の仲間たちの楽しい音楽、激しいリズム、優雅な旋律まで、たくさんの動物たちとのふれあいをクラリネットの明るい響きでお楽しみください。

第2部

ピアノ 「空」

秋の夜長、きらきらと輝く月光、明け方シトシトと降り出す雨、雨が上がり太陽のもとと色鮮やかに現れる虹。幻想的な情景をピアノの音色でお届けします。

第3部

トロンボーン・アンサンブル 「森と大地」

雄大に広がり、ある時は荒々しい姿を、ある時は感動を魅せる大地。そして、緑豊かに、いのちの鼓動を感じさせる森。トロンボーンの響きでお送りします。最後には皆様もきっと楽しめる北の大地の演歌メドレーもあります。

第4部

女声合唱 「水」

自然の恵み、水。人生にも喩えられるドラマティックな一面を持ちながらも、美しい生命の神秘を私たちに与えてくれます。女声合唱の美しい歌声にのせて、母なる自然の恵みを感じてください。



メッセージ

司会者 **三ツ木 麗** 2年 声楽演奏家コース

こんにちは！去年に引き続き、司会進行を担当します三ツ木麗です！栃木県の自然の中で、野山にまじりて竹を取りつつ育った私が、今年は皆様を「自然を感じる音楽会」へとご案内いたします！笑顔あふれる楽しい演奏会にしたいと思っております！最後までどうぞお楽しみください！



ドイツ民謡 / 《山の音楽家》

“Ich bin ein Musikante” (Volkslied)

古くから知られるドイツ民謡です。NHKの[みんなの歌]で放送されていた「♪わたしや音楽家 山の子リス〜」の歌、皆さん一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。クラリネットの音色で愉快にお届けします。

大中恩 他 / 《動物メドレー》

皆様も耳馴染みのあるかわいらしい動物の曲をメドレーでお届けいたします。一曲目は《犬のおまわりさん》。迷子の子猫ちゃんから始まり、後にどんな動物が出てくるかは、聴いてからのお楽しみ。全部で4種類の動物が登場します。ぜひ探してみてください。

リムスキー=コルサコフ /
オペラ《サルタン皇帝》より《熊蜂の飛行》

Rimsky-Korsakov, Nikolai Andreyevich / “Skazka o Tsare Saltane” ‘Flight of the Bumblebee’

《サルタン皇帝》の劇中で主人公の王子が魔法で蜂に姿を変え、悪役を襲撃する場面で使われています。ニッカウキスキーのCMにも使われていたのをご存知の方も多はず。熊蜂の羽音に模した目まぐるしい曲調を見事に演奏する奏者たちの指使いにもご注目ください。

サン=サーンス / 《動物の謝肉祭》より
第1曲《序奏と獅子王の行進曲》, 第4曲《亀》, 第13曲《白鳥》, 第14曲《終曲》Saint-Saëns, Camille / “Le carnaval des animaux”
‘Introduction et marche royale du lion’, ‘Tortues’, ‘Le cygne’, ‘Final’

百獣の王ライオンの威厳ある行進曲、ゆったり歩く亀や、優雅な白鳥の様子、賑やかなフィナーレ。どこかで耳にしたことのあるポピュラーな曲ですね。しかし実はこの作品、サン=サーンスが冗談を交えて色々な作曲家の曲をパロディにしたもの。意外にもブラックジョークの効いた音楽です。

以上4曲、いずれも学生によるクラリネット・アンサンブル用編曲で演奏します。



クラリネット五重奏

日下 翔太	3年
飛田 悠里	3年
西村 明穂	3年
渡辺 繁弥	3年
和川 聖也	2年

メッセージ

人々に幸せと平和を提供する音楽隊「クレイジー・クインテット」です。クラリネットを愛してやまない情熱的な5人が集まり、優しく麗らかに、時には切なく、時には激しく…クラリネットならではの味のあるサウンドをお届けしながら、活動しております。様々な大きさのクラリネットを用いるため、重厚なハーモニーが温かく身を包みこんでくれることでしょう。一瞬にして、クラリネット・アンサンブルの魅力に引き込まれてしまうこと、間違いなしです。

ドビュッシー / 《ベルガマスク組曲》より第3曲〈月の光〉

Debussy, Claude / "Suite bergamasque" 3. 'Clair de lune'

穏やかな夜空に光り輝く月の情景を、印象主義の開拓者ドビュッシーがロマンティックな情緒溢れる音色で作り上げました。中盤、月の光がキラキラと輝く音が聞こえて来るのでぜひ耳を澄ませてみてください。

ショパン / 《24の前奏曲》作品28 第15番 変二長調〈雨だれ〉

Chopin, Fryderyk Franciszek / "24 prelude" op.28,15 D♭ major

一曲通して伴奏の中でラ♭の音が絶え間なく連打され、まるで軒端から雨だれが落ちる音のよう。中盤、雰囲気がからりと変わり、雨が激しくなったかと思ったら、また抒情的な旋律に戻ります。

アーレン 編曲:竹田由彦 /
ミュージカル映画《オズの魔法使い》より〈虹の彼方に〉

Arlen, Harold / "The Wizard of Oz" 'Over the Rainbow'

さっきまで降っていた雨が上がり、虹が出てきたようです。

《オズの魔法使い》の主人公ドロシーが虹の向こうにはきっと憧れの世界が広がっているはず…!と夢見て歌う曲。ドロシーを演じたジュディ・ガーランドが歌い、アカデミー賞を受賞して大ヒットしたこの曲、皆さんも耳馴染みではないでしょうか。



ピアノ 宮堂 千夏子 4年

メッセージ

東京音楽大学4年生の宮堂千夏子です。

昨年の「すがもベテランクラブコンサート2015」ではスタッフとして関わりましたが、今年は演奏者として、また皆さんとお会いすることができてとても嬉しい気持ちでいっぱいです!

本日は「空」をテーマに、虹のような音色を奏でられたらと思います。皆さんにお楽しみいただけるよう、私も楽しんで演奏します!

ハイドン / オラトリオ《天地創造》Hob.XXI:2より 第2部 第26曲〈大いなる偉業が成し遂げられた〉

Haydn, Franz Joseph / “Die Schöpfung” Hob.XXI:2 Part. II ‘Vollendet ist das große Werk’

旧約聖書の創世記で最初に語られる神による天地創造の過程と、アダムとイヴの物語が描かれた壮大な合唱曲です。天使が神を讃える合唱を、トロンボーンの響きでお送りいたします。

高嶋圭子 / 《ハナミズキの祈り》より 4、「ハナミズキの祈り」

この曲は、2011年3月11日の東日本大震災で家族を亡くした女性の絵本をもとに、トロンボーン・アンサンブルのために作曲されました。「ハナミズキの花を目印に植えて避難路を作ってあげて」と夢の中で息子さんに語りかけられたといいます。ある時は人の想像もつかないほどの猛威を振るう大地。忘れてはならない悲劇に捧げる祈りの曲です。

久石譲 / ジブリ映画《もののけ姫》より〈アシタカとサン〉

人と自然の共存をテーマに描かれた映画《もののけ姫》。人間と森が争う中で、獣にも人間にもなりきれないもののけ姫・サンと、人間でありながら自然との共存を願う青年・アシタカ。優しい曲調が、森とともに生きることの素晴らしさを感じさせてくれます。

久石譲 / ジブリ映画《魔女の宅急便》より〈晴れた日に〉

13歳の魔女・キキが空を気持ちよく飛んでいる風景が目に見え、浮かぶメロディー。可愛らしいワルツの曲調がこれから何が始まるのかワクワクさせてくれます。

演歌メドレー / 《津軽海峡冬景色》, 《函館の女》, 《また君に恋してる》, 《北酒場》

さあ、お待ちかね。北の大地の演歌メドレーです。皆様お馴染みの曲の数々をお楽しみください。

ハイドンと演歌メドレーは、学生によるトロンボーン・アンサンブル用編曲で演奏します。



トロンボーン四重奏

石橋 諒	3年
大泉 茉弓	3年
小村 文乃	3年
白川 隆	3年

メッセージ

皆さんこんにちは！トロンボーン・カルテット54（フィフティーフォー）です。

メンバー全員が東京音楽大学3年生です。昨年度、学内のソロ・室内楽定期演奏会に合格し、としまテレビにも出演しました。

「笑顔、元気、努力」を合言葉に毎日楽しく活動しています！今回は皆さんもご存知の曲や、綺麗で聴きやすい曲をご用意しましたので、皆さんに楽しんでもらえるよう、頑張ります！

作曲:高田三郎 作詞:高野喜久雄 / 女声合唱組曲《水のいのち》より第1曲〈雨〉

止まることなく流れる美しいハーモニーはまさに降りしきる雨のよう。長い人生において私たちは幾度となく立ちすくむけれど、自然の恵みは分け隔てなく、すべてのものに注がれるということを歌った詩が、キラキラした旋律と合わさり、心にすっと入ってきませんか。

作詞・作曲:森山直太郎 御徒町凧 編曲:信長貴富 / 《虹》

《さくら》で有名な歌手の森山直太郎が作詞作曲しました。出会いは同時に別れであるけれど、そこにはきっと雨上がりに現れる鮮やかな虹のような希望があることを歌っています。一期一会、出会いを大切に思える一曲ですね。

スコットランド民謡 訳詞:八木倫明 編曲:小川類 / 《広い河の岸辺》

NHK朝の連続ドラマ小説『花子とアン』や『マッサン』の劇中でも歌われていたこの曲。『マッサン』の劇中でエリーは、「この歌はケルトの人々の魂の歌だ」と言っていましたね。物悲しげなメロディーと愛を語った詩が、生かされる喜びを感じさせてくれます。

作曲:見岳章 作詞:秋元康 編曲:中島良史 / 《川の流れるように》

国民的歌手・美空ひばりの不朽の名曲。はかり難い人生を川の流れるに喩えた歌詞は、今やAKB48の仕掛人として有名なプロデューサー、秋元康氏が提供しました。人生は真っ直ぐだけではなく、曲がっていたり、流れが速かったり遅かったり、でも最後には海に辿り着く、そんなメッセージは広い世代で今もなお愛されています。



女声三部合唱

磯部 佑梨	院1年
川合 里沙	院1年
小座野 春奈	院1年
杉山 紗英	院1年
関口 紫野	院1年
寺島 優貴	院1年
内田 瑛愛	3年
伴奏 佐藤 響	院1年

メッセージ

皆様はじめまして、こんにちは♪ 私たちは今回のコンサートのために集まりました、女声コーラスグループ《team eau チーム オー》です! eauとはフランス語で水という意味です。

今回は「水」をテーマにした、美しく爽やかな歌を用意しました。朝ドラで聴こえたあの曲や、演歌界の女王が歌ったあの名曲など…心を込めて演奏します!どうぞお楽しみください。

みんなで 歌おう

《赤とんぼ》

詞：三木露風 曲：山田耕筰

夕やけ小やけの 赤とんぼ
負われて見たのは いつの日か

山の畑の桑のみを

小籠に摘んだは まぼろしか

十五で姐やは 嫁に行き

お里のたよりも 絶えはてた

夕やけ小やけの 赤とんぼ
とまっているよ 竿の先

《ふるさと》

詞：高野辰之 曲：岡野貞一

うさぎ追いし かの山
こぶな釣りし かの川
夢は今も めぐりて
忘れがたき ふるさと

いかにいます 父母
つつがなしや 友がき
雨に風に つけても
思いいずる ふるさと

こころざしを はたして
いつの日にか 帰らん
山は青き ふるさと
水は清き ふるさと

《見上げてごらん夜の星を》

詞：永八輔 曲：いずみたく

見上げてごらん夜の星を
小さな星の 小さな光が
ささやかな幸せをうたってる
見上げてごらん夜の星を
ボクらのように名もない星が
ささやかな幸せを祈ってる

手をつなごうボクと
追いかけてよう夢を
二人なら
寂しくなんかないさ

見上げてごらん夜の星を
小さな星の 小さな光が
ささやかな幸せをうたってる
見上げてごらん夜の星を
ボクらのように名もない星が
ささやかな幸せを祈ってる